

学校図書館経営方針

大田市立五十猛小学校

1 学校図書館教育の目標

- ・図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して、豊かな人間性を育てる（読書活動）
- ・図書館を活用することを通して、意欲的に学び情報を活用する能力を育てる。（情報活用）

2 読書活動

(1) 日常的な読書活動

①通常貸出

- ・1人2冊まで。期間は1週間。朝（8：00～8：10まで）、業間、昼休み。
- ・図書委員会の児童または学校司書によって貸し出しをする。

②おすすめ本（学年必読図書）の薦め

- ・個人でもっているおすすめ本のファイルに必読図書のプリントがとじてある。6年分とじてあるが、必要があれば見直しを行う。（今年度は見直しを行う。）
- ・学年ごとの必読図書を読み終えたらその都度シールを貼る。（担任または学校司書）1つ上の学年まではシールを貼ることができる。
- ・学年の必読図書をすべて読み終えたら、**校長先生から認定証**をもらう。
- ・6年生までの必読書をすべて読み終えると、**校長先生からグランド認定証**がもらえる。
- ・おすすめ本ファイルは各学級で保管。図書館の活動に関係するプリント類もファイルにはさんでおく。

シールの色

1年・・・赤色 2年・・・青色 3年・・・黄色 4年・・・ピンク色
5年・・・水色 6年・・・緑色

- ・本かばんは机の横に常時かけさせ、借りた本を中に入れておく。

③朝読書（8：15～8：30）

- ・月、火、木（全校朝礼、読み語りを優先）

④読み語り

- ・木曜日の朝活動の時間（ビーンズさんが入っていない時）に学校司書に読み聞かせに入ってもらおう。

(2) その他の読書活動

①親子読書（年1回6月）

- ・授業公開日に合わせて実施し、親子で読書を行う。

②お話スタンプラリー

- ・低・中学年の児童に管理職や学校司書等がお話バイキングを行い、読書意欲を高める。

(3) おすすめ本の紹介

①図書委員児童からのおすすめ

- ・紹介されたものを実際の本とコメントを書いて掲示したり、図書館便りにのせたりする。

(4) 委員会活動

①常時活動

- ・本の貸し出し（登校後8：10まで）
- ・新聞の掲示

- ②1年生への読み聞かせ
- ③おすすめ本の紹介
- ④集会（七夕・読書週間・クリスマス等）
- ⑤読書郵便

（5）家庭・地域との連携

- ①地域ボランティア『お話ビーンズ』さんによる読み語り（木曜日）年間33回
 - ・4月24日（月）15：15～16：00 顔合わせ
 - ・低・中・高学年に分かれて。
 - ・スタートは4月27日を予定。
- ②家読の推奨
 - ・家読カードを作り、夏季休業と冬季休業中に実施する。
- ③保育園やポケット倶楽部への図書館開放
 - ・カードを作り、本を借りたり読み聞かせをしたりする。

（6）環境整備

- ①図書館廊下の掲示
 - ・テーマや学習内容に沿った掲示をしていく。

3 学習情報センターとしての活用

（1）日常における情報活用能力の育成

- ①図書館の時間（国語）における図書館トレーニング（スキルの育成）1～4年
- ②図書館活用の時間の設定（1～4年生）
 - ・初回は、各学級を対象に図書館オリエンテーションを実施
 - ・図書館・情報活用学習年間計画にそって予定を立て、毎週1時間程度それぞれの学級に司書教諭も授業に入り、図書館活用に関する部分については指導する。（図書館クイズ・辞書引き学習を中心に）

（2）一覧表を活用した計画的・系統的な指導

「情報活用能力指導の体系表」を参考にして計画を立てる。←各学年の年間計画（国語）にある。

（3）学校司書との連携

- ・発展学習や調べ学習のための選書や資料の用意（新聞記事のファイルも）
- ・個別の支援

4 その他

（1）図書館便り

- 家庭や児童へ向けて（主に学校司書）
 - ・学期に1度の割合で定期的に発行
 - ・おすすめ本の紹介等

（2）図書館活用教育研究事業（平成28年度・平成29年度）

- ・図書館を活用した授業公開 年2回（1学期・3学期）←訪問指導
- ・各学級1単元は、司書教諭と学校司書が入っての授業実践を行う。（教科・領域は自由）

図書館教育校内体制図

